

# 活動情報



第 13 号



## 和牛雌牛繁殖成績の向上に向けて — 繁殖管理ソフト操作勉強会を開催 —

8月19日、JAふくおか嘉穂繁殖和牛部会全体会議がJAふくおか嘉穂本所において開催され、部会員及び関係機関合わせて12名が参加しました。

普及指導センターからは、和牛雌牛繁殖管理用のクラウドサービス「<sup>むーばっど</sup>moopad」の操作・活用方法について説明しました。このシステムは、各農場の牛群の現在の様子を「見える化」するとともに、発情予定日や分娩予定日を生産者のスマートフォンに“アラート”として送り注意を促すものです。

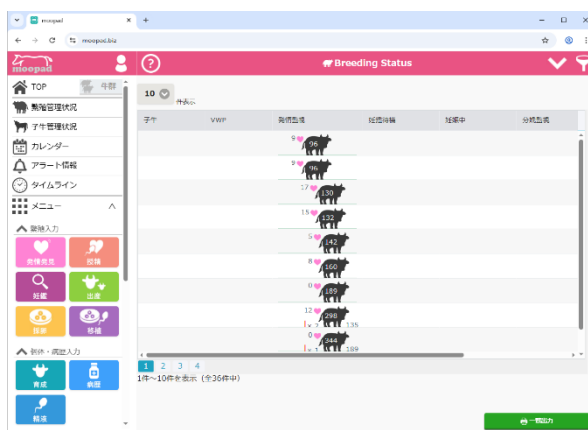
当部会の繁殖雌牛の平均分娩間隔は県平均より14日長く、部会としては「分娩間隔の短縮」を目標に掲げ、牛群構成チェック・飼養管理改善に取り組んでいます。加えて、繁殖管理の効率化を図るために、本年度からこのシステムを導入することとしました。

参加者からは、繁殖データの入力方法について積極的な質問がありましたが、操作に対する不安の声も上がりました。また、発情発見や授精等の最新情報を常に入力していく必要性があるため、当面はJA・普及指導センターで伴走支援していくこととしました。

普及指導センターでは、今後も和牛雌牛繁殖成績の向上に向け、巡回指導や講習会を通じて畜産農家を支援していきます。



操作説明の様子



操作画面（一例）